

【日時】令和7年4月30日（水） 11時00分～

【場所】新居浜市消防防災合同庁舎（5階）

【項目】

（1）下水道マンホールにNEWデザインを導入について

（2）2025大阪・関西万博イベント内容について

（司会）

定刻が参りましたので月例記者会見をはじめさせていただきます。

それでは、よろしくお願いいたします。

（市長）

本日は記者会見にご出席をいただきまして、ありがとうございます。

今回は、令和7年度初めての会見でございますので、「記者会見の予定」についてご説明いたします。定期的な記者会見といたしましては、これまでどおり、6月、9月、12月、2月の市議会定例会の招集告示日に、議会に提出する議案等について、定例記者会見として発表させていただき、4月、7月、10月、1月につきましては、記者クラブ主催の月例記者会見とさせていただきます。

今年度も新居浜の情報を多く取り上げていただけるよう、記者会見などを通じて行政情報を発信してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

下水道マンホールにNEWデザインを導入について

それでは、お手元の会見次第の各項目について、ご説明させていただきます。

まず、「下水道マンホールにNEWデザインを導入」についてでございます。

下水道のマンホールについては、市の魅力発信や下水道事業への理解と関心を高めるために、各市が市の特色を生かしたデザインを採用しております。

新居浜市におきましては現在、カエデの葉をモチーフとしたデザインを採用しておりますが、更なる魅力のアピールや、改めて下水道事業への理解と関心を高めていただくことを目的として、水道フェスタ2024での人気投票で選ばれた「新居浜太鼓祭り」をモチーフとした新たなデザインのマンホールを導入いたします。

新たなデザインの導入により、足元からも新居浜の魅力を発信するとともに、下水道をより身近に感じていただければと考えております。

なお、マンホール設置の様子取材に関しましては、5月11日13時30分に新居浜駅前人の広場に最初に設置するマンホールの際にお願いいたします。

2025大阪・関西万博イベント内容について

次に、「2025大阪関西万博での本市 イベント内容」についてでございます。

大阪関西万博が4月13日に開幕いたしました。

本市では、1970年の大阪万博にて、2台の太鼓台を派遣し、本市の伝統文化である新居浜太鼓祭りを世界に向けて発信した実績がございます。

今回の万博におきましても、5月21日（水）に太鼓台3台を派遣し、かきくらの演技の他、市内で活動しているよさこいチーム「浜っ鼓★弾★DAN」（はまっこだんだん）、新居浜南高、そして石村嘉成（いしむら よしなり）さんによるステージパフォーマンスを予定しております。

さらに、新居浜ふるさと観光大使である「水樹奈々」（みずき なな）さんにもご協力をいただき、歌唱をご披露いただくこととなっております。

これらのパフォーマンスを通して、本市が世界に誇る伝統文化行事のPR及び市の魅力を全世界に発信し、本市の認知度向上及び誘客促進につなげたいと考えております。タイムスケジュールに関しましては、別紙をご覧ください。

また、機運醸成として、万博参加の30日前（4月21日）より、市役所1階にカウントダウンボードとメッセージボードを設置し、本市公式インスタグラム等で発信をしております。

私からは以上でございます。